

あやめ池学園南九条の会



「憲法9条守れ」6割に

「改憲反対」が15年ぶり上回る「読売」世論調査でも

読売新聞が1981年から実施している面接方式の「憲法」世論調査で、「憲法改正」反対が賛成を十五年ぶりに上回ったことが、同紙4月8日付の報道で明らかになりました。

「今の憲法を改正しない方がよい」と思う人は43・1%で昨年調査より4・0ポイント増、「改正する方がよい」は42・5%で同3・7ポイント減でした。

同紙調査では、九条については改定反対が一貫して多数でしたが、憲法全体については九三年から改定賛成が反対を上回り、2004年には賛成65・0%と最高を記録していました。

しかし、同年に「九条の会」が結成され、翌年からは四年連続で改憲反対が増加、昨年は賛成が過半数割れしていました。

反対の理由（複数回答）では、「世界に誇る平和憲法だから」が6ポイント増の52・5%でトップ、「基本的人権、民主主義が保障されているから」も4ポイント増やして26・6%でした。

支持政党別でも、自民支持層で賛成が九七年以来の半数割れ、無党派層でも九三年以降はじめて反対が賛成を逆転しています。

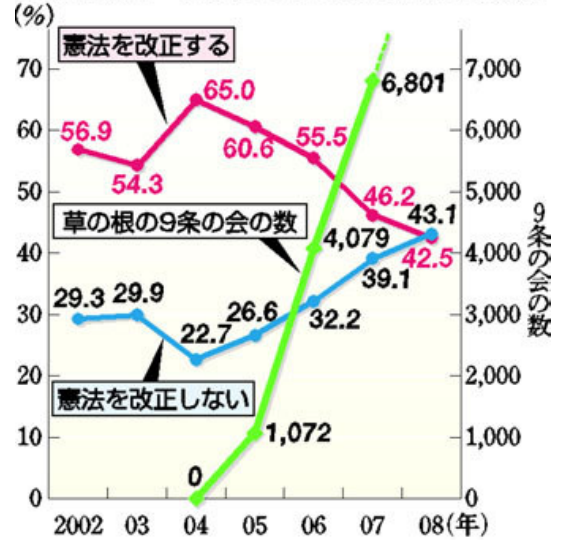
民主支持層では二年連続で反対が多数で、50・2%と過半数でした。

九条については、「これまで通り、解釈や運用で対応する」と「九条を厳格に守り、解釈や運用では対応しない」のいずれも増加し、あわせて60・1%に。

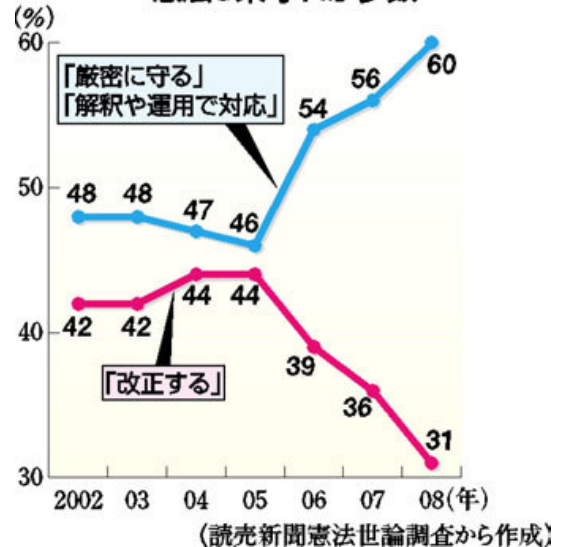
「九条を改正する」は30・7%で5ポイントも減少、九条改定反対が圧倒していることを示しています。

本来一体である九条を一項、二項に分離して改定の賛否を聞いた設問でも「改正する必要がない」が一項で81・6%、二項で54・5%を占めました。

憲法改定への賛否と「九条の会」結成数



憲法9条守れが多数



2008年4月、「九条の会」は、地域・分野の会が前回の交流集会時から、小学校区単位や職場など、より生活に密着する場に広がり、1800余増えて全国で合計7039に達しました。

あやめ池学園南九条の会でも、これまでに、ホームページ作成、全戸チラシ8回配布、ニュースを12回発行、映画「日本の青空」の学園前ホールでの上映協力、地域での「九条の会」ポスター掲示、駅頭での署名宣伝行動、講演会・座談会、代表世話人会31回開催などにとりくみました。ひきつづき、ミニ集会などより小さな集まりの単位で活動を広げていきます。

「会」では、呼びかけ（裏面）への賛同、ポスターミニステッカー掲示、などに取り組んでいます。ご協力いただける方は、是非ご連絡を！